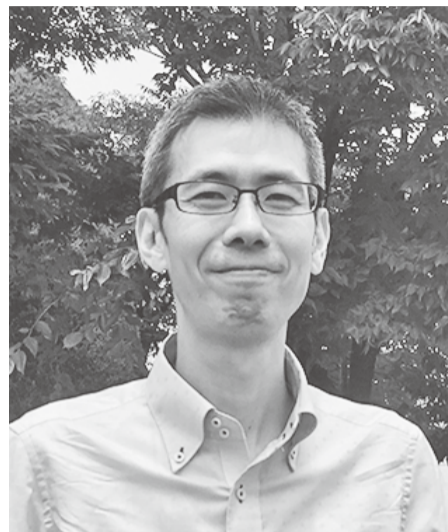




# 『ご当地電力』という自然エネルギーの新たな魅力

ノンフィクションライターの高橋真樹さんは「持続可能な社会」をテーマに、日本全国や世界70カ国をめくり取材しています。市民主体の自然エネルギーの取り組みである『ご当地電力』について書籍やインターネット上で紹介しているほか、2016年より始まった小売り電力自由化についてわかりやすく解説した書籍も出版されています。高橋さんが考える自然エネルギーの魅力についてお聞きしました。(聞き手:環境担当常務理事 泉 容子)



ノンフィクションライター  
高橋 真樹さん

**自分事になって  
はじめて行動を起す  
ことができる**

泉 自然エネルギーについて考えるようになったきっかけは何ですか。

高橋 学生時代に、チェルノブイリ原発事故による保養児を受け入れるボランティアに参加したのがきっかけです。事故当時幼かった子どもたちは5年以上経つてから異常が現れ始め、短期間でも放射能から逃れるために日本で保養の受け入れをしているNGOがありました。僕より若い10代の子どもたちが長い間放射能に苦しみ続けていることに衝撃を受けました。それまで遠い昔の戦争のことだと思っていた広島や長崎の原爆のことも、急に身近な問題に感じられました。戦争と発電事業は別の問題かもしれませんが、同じ放射能汚染に違いありません。放射能問題は僕のライフワークとなりました。

**反対するだけでは  
運動は広がらない**

泉 チェルノブイリ原発事故以来、原発を危険視して反対運動が各

地で繰り広げられましたが、再び東京電力福島第一原発の事故が起こりました。日本人は広島・長崎の経験を通して核の恐ろしさを十分に知っているはずなのに、未だに原発を止めることをせずに川内原発(鹿児島県)、伊方原発(愛媛県)に続き、関西電力の高浜原発(福井県)と大飯原発(福井県)が再稼働しています。

高橋 確かに一部の人ががんばって反対運動を続けていたのですが、大事なことで辛いだけだとたいていの人は目を背けたくなります。運動は広がらないのです。平和運動も同じですが、一方的な押しつけだけではかえってトラウマになって興味をなくしてしまいます。例えば、生活クラブは食品添加物にも反対していますが、「身体に悪いから食べてはいけない」と言うだけでは何を食えばよいのかわからず、言われた人は嫌になってしまいます。ところが生産者と一緒になって代替品を作ることで新しい未来が提示されて希望を持つことができます。

泉 脱原発運動も同じく、電力の小売り自由化が始まったことで、「自然エネルギーを広げる」という明るく楽しい活動の要素が加わりました。

**明るく楽しい  
未来を提示する運動**

泉 高橋さんは『ご当地電力』取材され、その魅力を発信していま

すね。

高橋 再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT)ができたこともあり、自然エネルギー発電事業を立ち上げる市民団体が増えてきました。自然エネルギーと言っても、結局設備は機械で、どこの太陽光パネルであっても同じです。しかし裏にある「どういう想いでつくられているか」が、皆それぞれにストーリーが違っておもしろいのです。また、新しい世界を創り出すチャレンジをしている人は魅力的です。僕がアドバイザーを務めた、映画「おだやかな革命」では自然エネルギー発電事業を道具に、自然と向き合いながら、これからの暮らしを自らの手でつくっていくようにする人たちの、穏やかで力強い挑戦の姿が描かれています。

泉 映画では「生活クラブでんき」の生産者である「会津電力(株)」(福島県)や「飯館電力(株)」(福島県)、生活クラブの組合員が秋田県にかほ市で立ち上げた生活クラブ風車「夢風」の取り組みも紹介されています。自然エネルギーはクリーンだけでなく、小規模であることから市民主導で取り組みやすく、そこから地域おこしが広がっています。新たな自然エネルギーをつくり出すことで生まれる、脱原発とCO2削減以外の魅力も知ってもらいたいです。



## 「おだやかな革命」自主上映会

この映画には、日本各地で地域が自立していくために、仲間とともにエネルギーをつくる挑戦をしている人々が登場します。自分たちの町の将来を考えて行動している姿に心惹かれます。また、この映画を見ると、「自分にとって何が幸せ?」と問われている気がします。自然エネルギーによる地域再生。これからの暮らしを巡る物語。ぜひ多くの方に見ていただきたい映画です。

●監督:渡辺 智史 ●ナレーション:鶴田 真由 ●製作・配給:有限責任事業組合 いでは堂

10月13日(土) ①午前の部 10:00 ~ (開場・受付9:30 ~)  
②午後の部 13:00 ~ (開場・受付12:30 ~)

岸和田市立浪切ホール1F・小ホール

大阪府岸和田市港緑町1-1 (南海本線「岸和田」駅 2番出口から徒歩約13分)

エスコープ大阪組合員: 無料(組合員の家族含む)

組合員以外の同伴者: 1,000円(中学生以下は無料)

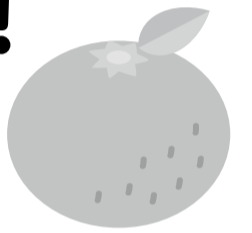
お子さん1人につき300円(要予約)

無料  
駐車場  
あり

お申し込み  
お問い合わせ

エスコープ大阪 理事会事務局 ☎072-293-4660

# このみかんを作り続けて 食べ続けるためには 「シーズンプリ予約」で利用を!



今から40数年前、和歌山県下津町でみかんの木に農薬を散布する手伝いをしていた中学生が農薬中毒で亡くなる事故が起きたことをきっかけに、3人の若い生産者(後の「豊共園生産者」)が不要な農薬を控え有機質肥料のみかんを育て始めました。しかし見かけ重視の市場では買手がつかないため、トラックに積み込んで堺市南区の泉ヶ丘駅前へ売りに来たときに、泉北生協(現エスコープ大阪)の組合員と知り合い、産直第一号となるみかんの取り組みが始まりました。エスコープ大阪では生産者と約束した数量を消費できるように、毎年みかんのシーズンプリ予約に取り組んでおり、2007年からは「アイワ研究会」(和歌山県日高川町・有田市)と植田寛さん(岸和田市)が加わり、生活クラブ関西6生協全体での取り組みへと広がりました。8月9日(木)に消費委員が産地を訪問。今年の生育状況を確認し、生産者にお話を伺いました。温州みかんの情勢やシーズンプリ予約の取り組みとともに報告します。

り、3万1千630人減少しています。その中でも若い世代の農家の減少が多く、60歳以上の農家の割合が71%と2010年に比べ7.5ポイントも上昇しています。また、温州みかんは果実の国内自給率の中でも大きな割合を占めているため、温州みかんの収穫量が減ることは、果実全体の国内自給率が下がることにもなります。

## ひとりの生産者だけでは産地は守れない

豊共園の園地周辺では、手入れされずに荒れ、耕作放棄地となった園地も見受けられます。また、植田さんは、先代の頃には7軒の生産者と一緒に取り組んでいましたが、今は植田さんだけになりました。

アイワ研究会では、地域の他の生産者と「新果樹研究会」を作り、情報

交換や技術の向上に努めています。みかんの産地は生産者の地域コミュニティで成り立っていて、水やりひとつをとっても地域ごとに皆で協力しておこなっています。そのため、地域で生産者が少なくなると残った生産者も生産が困難な状況になってしまっています。園地が放棄されると雑草がはびこり、木が生い茂り、陽が遮られて害虫の巣が増えます。一度荒れ地になると土地が痩せ、もとに戻すのは困難です。特に山の上にある畑は不便で転作も難しいので放置されがちです。これからは私たちの生産者だけでなく「産地」について生産者と一緒を考えていく必要もあります。

## 今年のみかんの生育状況

### 豊共園

昨年と違い、平年並みの収穫量を予定しています。今年春の開花が早かったため実が早熟で、今後秋雨が長く続くくと湿気が取れきれず、表皮にひび割れが生じたり、腐りが出てくることを心配しています。



今年度の代表の宮本さん

### 植田さん

平年並みか少し少ない収穫量を予定しています。先代が植えた40数年の畑が主力で、生協に全量出荷しています。木の老化により収穫量が落ちてきたため、新しいみかん畑を作り、来年以降の収穫を見込んでいます。アライグマやタヌキによる被害がありますが、なかなか決め手となる防除がないそうです。



### アイワ研究会

昨年とは違い、今年は一本人の木のみかんがたくさんなっていますが、そのため収穫量は平年並みか少し少ない状況です。この数年の天候不順にはベテラン生産者も頭を悩ませています。尾尻さんの後継者として新しくアイワ研究会に加わった山口さんは、「ベテラン生産者に教わりながら酸味と甘さのバランスの取れたアイワらしいみかんを作りたい」と話してくれました。



左が山口さん、右が尾尻さん

## ずっとこのみかんを食べたいから シーズンプリ予約をすすめます

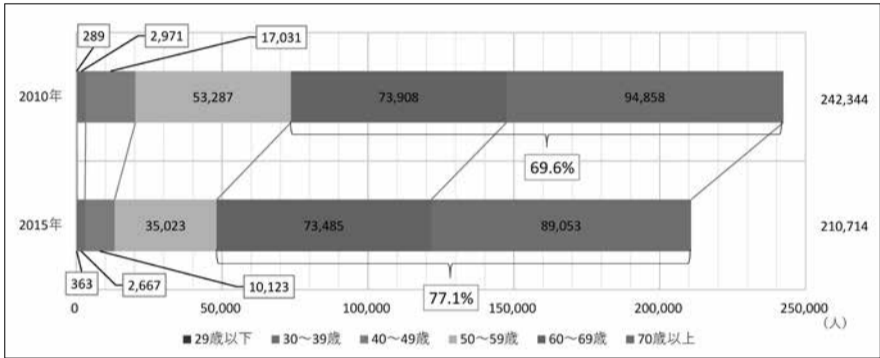
どの生産者もその土地に合ったみかん栽培に向き合い、今夏の酷暑の中で作業に励んでいます。「苦勞した分、おいしいみかんができるんや」と話す生産者もいらっしゃいました。みかん栽培に方程式はなく、今までの経験と試行錯誤を繰り返しながら、より良いみかんを組合員に届ける努力をされています。スーパーの産直品とは違い、私たちの産直は生産者に直接会って話ができて、話し合いをしながら消費材を作っている関係です。

今シーズンは関西6生協全体で253.8トン、そのうちエスコープ大阪では66トンのみかんを食べる約束をしています。注文数が読めない自由注文とは違い、シーズンプリ予約は消費量の見通しができるため価格を下げることもできます。37週(9月17日〜21日)に届いたシーズンプリ注文書で利用できます。シーズンプリ予約で今年のみかんを食べましょう。

温州みかんの収穫量の推移 農林水産省「果樹生産出荷統計」を基に作成



年齢別果樹の農家戸数の割合 出典:農林水産省「農林業センサス」



**カタログ注文より  
お得!!**

**シーズンプリ予約の申し込み期間は2週間  
9/24(月)～10/5(金)**

シーズンプリ予約	2kg	565円(税込610円)
	5kg	1,280円(税込1,382円)
	10kg	2,360円(税込2,549円)
カタログ注文	1kg	309円(税込334円)
	2kg	586円(税込633円)
	5kg	1,343円(税込1,450円)

**関西6生協の温州みかん栽培基準**

- 栽培期間中の化学合成農薬の使用回数を慣行栽培の5割以上削減
- 栽培期間中の化学肥料の使用量を慣行栽培の5割以上削減

※産地や畑の条件により違いがあります。現在、化学合成農薬は4～9成分、化学肥料は0～8kg/反(2017年度)となっています。

(参考)  
和歌山県慣行レベル=化学合成農薬18成分、化学肥料20kg/反  
大阪府慣行レベル=化学合成農薬20成分、化学肥料25kg/反

**西日本豪雨災害カンパ**

豊共園でも被害があった7月に発生した西日本豪雨災害。被災地へのカンパにご協力をお願いします。

注文番号 1口 何口でも申し込みます!

233986500円

●申込方法: 40週(10/1～5提出)までの注文書の注文番号記入欄に印字しています。数量欄に申込口数を記入してください。インターネットでも申込可能です。

\*カンパ金は非課税。  
\*このカンパは特定組織への支援金を含むため税制上の優遇措置の適用対象外です。

理事会  
**エスコープ大阪2018  
 リフレッシュツアー**  
 7月24日(火)~  
 26日(木)  
 組織担当常務理事  
 山田 智巨

**今年5名の子どもたちが参加！  
 3日間海水浴など  
 楽しい時間を過ごしました**



「生活クラブふくしま」、「生活クラブ栃木」の組合員とその家族を招き、少しでも放射能から離れ外で思いっきり遊び、心身ともにリフレッシュしてもらうことを目的に毎年おこなっているリフレッシュツアー。今年も2家族8名を受け入れ、元気いっぱいの子どもたちと2泊3日を過ごしました。

1日目は、大阪市内を観光し、生協本部でエスコープ大阪組合員との夕食交流会をおこないました。2日目は、和歌山県へ移動。片男波海水浴場での海水浴と天然紀州黒潮温泉を満喫し、生協施設「協同の家・下津」でバーベキューを楽しみました。3日間を通してエ



スコープ大阪の組合員13名と職員が準備や海水浴での子どもたちの見守り、そして参加者の話に耳を傾けました。

参加者からは、「東日本大震災や東京電力福島第一原発事故のことを遠く離れた大阪の地で忘れないうでいてくれることに勇気づけられた」、「大阪でも大雨や地震があり大変だったにもかかわらず、明るく笑顔で対応してもらえたことを心からうれしく思う」という感想がありました。

リフレッシュツアーと子どもたちの甲狀腺検査は、全国の組合員から集まったカンパ金をもとに生活クラブがおこなっている復興支援活動のひとつです。今後も、放射能汚染から「福島の子どもたち」と知る権利を守る活動として取り組みを継続していきます。震災があったことを風化させることなく、関心を高めていきたいと思っています。これからもカンパ活動へのご協力をお願いします。

堺市街地地域  
**コーミ(株)  
 生産者交流会**  
 6月8日(金)  
 高石市障がい者ふれあいプラザ 調理室  
 (高石市綾園)  
 組織担当常務理事 山田 智巨

**ケチャップ作り体験で生産者と組合員同士が  
 つながる機会になりました**



組合員と出会い、組合員活動について知ってもらう機会として企画を開催しています。

まずはグループに分かれてトマトケチャップ作りを体験しました。市販品の原材料には、輸入トマトペーストやブドウ糖、果糖液糖などが使われていますが、体験では国産トマトピューレ、香辛料、玉ねぎ、「真

塩」、「食酢」、「素精糖」を使用し、添加物を一切使用せずに作りました。材料を鍋で煮詰め、殺菌を兼ねてアツアツのトマトケチャップをびんいっぴいに流し込み真空状態を作ります。びんを冷ましている間には、「トマトケチャップ」と関西の組合員が開発に参加した「関西濃厚ソース」の話をお聞きしました。

3月にはテレビ番組「カンブリア宮殿」で生活クラブが取り上げられ、

消費委員会  
**第45回 生活クラブ  
 庄内交流会**  
 7月22日(日)~  
 24日(火)  
 山形県庄内地方  
 泉州地域理事 宮田 恭子

**フード・エネルギーで豊かな町へ**



庄内交流会は、生活クラブの「主産地形成」の取り組みを共にすすめる山形県の生産者を訪問し、現地でする実践している取り組みについて学び、交流します。生活クラブの各生協から計69名が参加し、エスコープ大阪からは2名が参加しました。

主産地形成とは、米の生産を軸に農業や化学肥料を減らした環境保全型農業の実現に取り組み、「生活クラブの食糧基地」としての産地を形成することです。

今回見学した「(株)平田牧場」では、食の自給率向上のため、遊佐町、「JA庄内みどり」、山形大学、生活クラブと提携して飼料用米に取り組みしています。また、地域内の資源循環として、平田牧場の生産過程で発生する有機物の堆肥化とその利用、廃用油のせつけん加工・バイオ

ディーゼル燃料としての活用、「菅杉勇蔵酒造場」の酒粕の豚みそ漬けへの副原料としての利用など取り組みは多岐にわたっています。生産者同士がつながり、庄内から現状を変えていく取り組みに惹かれました。

また、生活クラブと地域生産者で共同設立された「庄内・遊佐太陽光発電所」の建設地を見学しました。庄内地域における「エネルギーの地域循環」、地域参加型の取り組みによる「お金の地域循環」をつくり出すことを目的に、地域の自然資源による地域づくりをすすめています。

遊佐は農業や畜産、農畜産物を加工する産業がとて元気のある町で、生産者が誇りを持っているところが印象的でした。関西でも生活クラブ関西6生協の食糧基地として滋賀県の竜王町で「竜おうみ米」を主軸に主産地形成をすすめています。庄内の取り組みのように竜王町でもいろんな実験・実践ができるようにしたいと思いました。

コーミも取材を受けました。放送を見てエスコープ大阪に加入した参加者は、生産者と交流できることや消費材の中身が確かなことを実感していました。また、試食の際には加入歴の長い組合員がお気に入りの消費材を紹介する場面もあり、組合員同士の交流が生まれる良い機会となりました。

今回の交流会を通して、消費材の良さや、組合員の活動が主体となり組織している生協であることを伝えることができました。これからも、地域の組合員とつながる機会をたくさんつくって、堺市街地地域の組合員活動を広げていきたいと思えます。

**紹介します!!  
 うちの地域の  
 組合員さんです**



**母とふたりで  
 利用しています**

村山 紀歌さん  
 [泉北ニュータウン地域]

「エスチャンネル」のメンバーとして活躍されている村山さん。エスコープ大阪には、お母さまが加入されていたこともあり、出産をきっかけに加入されました。お母さまとおふたりで地域の企画に参加されるなど、親子2世代にわたってエスコープ大阪に親しんでいらっしやいます。

消費材の中でも特に「伊賀越(株)や「大徳醤油(株)」の醤油がお

**GO! GO! 第3回  
 ワーカーズ・コレクティブ  
 電話番W.Co. ふろんと**



2013年まで、W.Co.近畿連絡会・関西W.Co.連合会の前身がエスコープ大阪から委託されていた電話対応業務を、近畿連絡会が休会したため、ワーカーズスタッフ中心にそれぞれがエスコープ大阪とパート雇用契約をして業務を続けていました。しかし、パートは60歳が定年のため退職予定者たちが話し合い、今後とも働き続けられるよう2016年に電話番号W.Co.を設立しました。

設立メンバー全員が組合員で、個配W.Co.で働いた経験もあるため、日々の消費材やエスコープ大阪の取り組みについて情報を収集し、知識を向上するようにしています。エスコープ大阪で電話番経験のあるスタッフも加わり、今後は若いスタッフも加わってほしいと考えています。関西W.Co.連合会や他のW.Co.と連携してつながりをもって自分たちも含め発展していければと思います。

※W.Co.：ワーカーズ・コレクティブの略。非営利市民事業で、地域に必要なサービスを共同出資して自主運営し、みんなで働く。地域に必要なコトモノを自ら生み出し、地域貢献の視点をもつ。

「城山台D.O.」のようなエスコープのお店が、家の近所にもあればもっとうれししいし、エスコープにはこれからも安心・安全なものを作り続けてほしい。そうやって中身が明瞭で、安心・安全なものしか売れない・買えない未来に変わってほしい。なという気持ちで、共同購入を続けていきたいとのことでした。

聞き手 庄野明子  
 (泉北ニュータウン地域理事)



第3回 理事会報告 <8月1日>

【6月度決算報告】

- 供給高 2億2,191万円(前年同月比109.9%)
- 組合員数 19,512名(前月比165)
- 一人あたりの出資金 78,325円

【7月の放射能検査結果】

7月は連合消費材703検体、エスコープ大阪独自の消費材3検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【協議事項】

- ①2018年度 拠点づくり実施地域の決定
- ②次年度方針の立案に向けて(上期活動のまとめと方針作成チームなど)
- ③2018年度 温州みかんシーズン予約取り組み
- ④5月共済推進月間のまとめ
- ⑤「さようなら原発1000万人アクション」署名活動の呼びかけ
- ⑥河内長野・大阪狭山地域「スライス豚肉レシピ料理会の予算外執行」

# 生協の緊急時対応について

## 大規模災害時に 生協は事業を続けられるか

6月18日に、大阪府北部を震源とした地震が発生しました。地震の規模はマグニチュード6.1で震源の深さは13キロメートル。エスコープ大阪の本部がある堺市南区は震度3でした。幸い大きな被害はありませんでしたが、近い将来に発生すると言われている南海トラフ巨大地震ではマグニチュード9級の地震により、私たちが住む大阪府南部は震度6強以上の揺れが起こり、堺市の沿岸部では最高3メートルの津波が発生すると言われてます。さらに大阪府の資料によると、府全体の建物被害は約18万棟が全壊全焼、避難者は約192万人、上水道は約832万人、下水道は約33万人に影響が出るといった被害想定が示されています。

このような大規模災害に遭遇した時に生協は事業を続けられるのか。また続けられなくなった場合に、一日でも早く事業を再開できるかが重要な課題となります。地域社会においても、災害時における生協の動きは注目されています。



関西BCP会議は、生活クラブ連合会に属する東海・南海トラフ巨大地震の被害地域にある団体(※1)で構成され、災害対策の協議をおこなっています。

## 事業継続計画の策定と運用

この課題(事業継続)を追求する計画を「事業継続計画」(以下、BCP Business Continuity Plan)といいます。行政や大手企業などにおいては、2011年に発生した東日本大震災を教訓にBCPを策定する動きが高まっています。エスコープ大阪においても、災害マニュアルといった類いのものはありましたが、2017年2月にエスコープ大阪のBCP第1版を策定し、同年4月に理事会で確認しました。その内容は、「BCPの定義」「基本方針」「被害想定」「災害時の出勤体制」「災害時の優先業務」「災害発生時の行動基準」「たすけあい事業推進フロア福祉サービス再開に向けた手順」「災害対策本部の設置」「事前対策」課題で構成されています。

この中で特に重要なのは「災害時の優先業務」と「災害発生時の行動基準」です。災害発生時の行動の取り方や安否確認、また発後の事業再開に向けた行動を盛り込んでいます。ただし、BCPは策定しただけでは何の意味もありません。いざ災害が発生した時にこの計画に基づいた行動ができるかが重要です。今年度は、COOP安否確認システム(※2)の訓練や図上演習(※3)をおこなう予定です。また生活クラブ連合会や大阪府生協連合会を通して、他の生協との情報共有や連合会内の連携強化を図っています。

常務理事 大内淳次



8月9日に開催された関西BCP推進会議



エッコロ制度 8月度報告 加入者数 1328名

組合員活動を支えるためのケア	0件
組合員活動中の共同購入品受け取りケア	0件
加入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア	1件
加入者家族の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
加入者本人の産前産後のケア	0件
長期に留守をする時のケア	1件
リフレッシュのためのケア	0件
儀式・行事に伴うケア	0件
高齢の加入者をサポートするケア	5件



エスコープ大阪の子育てひろば

日時	会場
10月10日(水) 10~12時	大阪狭山市コミュニティセンター (河内長野・大阪狭山地域)
10月16日(火) 10~12時	さつき野東集会所(南河内地域)
10月3日(水) 10~12時	岬町望海坂第1集会所(泉州地域)
10月9日(火) 10~12時	和泉市コミュニティーセンター (泉州地域)
10月2日(火) 10~12時	堺市立青少年の家(泉北NT地域)

\*開催時間内であればいつ来ても、帰ってもOK  
\*組合員でないお友達との参加もOK \*事前申し込みは不要  
\*お茶代100円(大人のみ)をいただきます

【※1】エスコープ大阪、生活クラブ静岡、生活クラブ愛知、生活クラブ都市生活、生活クラブ大阪、生活クラブ京都エル・コープ、生活クラブ奈良、生活クラブ滋賀、(株)生活クラブ関西、生活クラブ連合会。  
【※2】COOP安否確認システム：スマートフォンや携帯・パソコンなどを通して安否確認をおこなうシステムで、日本生協連合会が運営しています。8月17日現在、エスコープ大阪では役員106名が登録しています。先般の大阪府北部地震のようにエリア内で震度5強以上の地震が発生した場合は自動配信される仕組みになっています。  
【※3】図上演習：災害発生後、時系列を追いながら災害の状況を想定して対策をシミュレーションし、グループワークをおこなう演習です。

## おたよりネット

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

188号表紙「社会を変える農業と消費」を読んで

紙面モニター Aさん

農産物は、「本来は安全が大前提で、形も大きささまざまが当たり前」に共感。いつまでたっても市販に浸透しないのは、買い手が悪いのか売り手(スーパーなど)が悪いのか…。エスコープ大阪に加入して、『旬菜セット』が届くようになってからJAの産直ショップに行かなくてもよくなり、さらに安心な農産物に出会えるようになりありがたく思っています。店舗「城山台Do」まで遠いのでお店もどんどん増えると良いのにとお思います。

188号2面「おいしく7価値ある豚肉」を読んで

紙面モニター Bさん

エスコープ大阪に加入する決め手は豚肉のおいしさでした。それまで豚肉はお取り寄せでまとめ買っていました。それをせずとも毎週届けていただける、そして飼料が安全、育て方が健全なら利用しない手はありません。オリジナルレシピ集をぜひゲットしたいです。

188号3面「店舗城山台Doリニューアルオープン」を読んで

紙面モニター Cさん

城山台Doのリニューアルオープンを楽しみにしていました。オープンキッチンの導入で試食販売ができるようになり、よりいっそう店舗の良さが発揮できそうです。実際に手に取って見れたり、店舗でしか手に入らない消費材もあつたりするので、近いうちに買いに行ってみようと思いました。

編集後記

7月の西日本豪雨災害に続き、9月4日(火)に台風21号が近畿地方を直撃し、大阪も大きな被害に見舞われました。被害に遭われた方々にお悔やみとお見舞いを申し上げます。

エスコープ大阪でも配送トラックが横転したり、デリバリーセンターで停電が続いたり、消費材をきちんとお届けすることができない事態に陥りました。4面の「コラム」コーナーでBCPIについて取り上げていますが、改めて緊急時の対策について考えさせられる機会となりました。今回の事態を教訓にし、今後の災害時の対応に役立てなければいけないと感じました。(K)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

## Ripple おたよりネット

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事會事務局行き 189号(2018.9.24)

(ペンネームOK)  
●地域名

●お名前

●組合員コード

●班名

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

http://s-osaka.seikatsuclub.coop/